



■出版社／株式会社 講談社
 ■発行年月日／2005年2月13日
 ※電子出版／株式会社 講談社

第6弾 プレゼンの技術

「誠実さ」がプレゼンの命である

プレゼンテーションは、たくさんの人との“出会い”の場でもある。

たくさんの人と出会える場にいることに、感謝の気持ちを忘れないでほしい。

そしてプレゼンテーションを始めるとき、「本日はこのようなお時間をいただけることに感謝いたします」と、お礼の挨拶をしてほしい。

プレゼン終了後は、「今日は約一時間、私のプレゼンを聞いていただき本当にありがとうございました」と終わりの挨拶をしてほしい。

愚直なようだが、それが上手なプレゼンターへの近道でもある。

どんなときでも、誠心誠意、接することだ。

それが、成功をつかみ取ることにもなるはずである。

売り切れ 絶版

必ず「YES」と言わせたい！
 そんなひとが
 「プレゼンの達人」
 になるために

【主な内容】

プレゼンターがプレゼンの“センス”を身につけよう

PART 1－プレゼンテーションの基本を押さえよう

PART 2－「ウケる話し方」のポイントは？

PART 3－プレゼンテーションをどう進めるか？

PART 4－視覚に訴えるプレゼンテーションをする！